

# 岡山県感染症週報 2017年 第33週 (8月14日～8月20日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

## ◆2017年 第33週 (8/14～8/20) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 第31週 2類感染症 結核 1名 (70代 男)  
 第32週 2類感染症 結核 2名 (40代 女 1名、70代 女 1名)  
 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2名 (O157:30代 男 1名、50代 女 1名)  
 4類感染症 レジオネラ症 1名 (70代 男)  
 第33週 2類感染症 結核 4名 (30代 男 1名、60代 女 1名、80代 男 2名)  
 4類感染症 レジオネラ症 1名 (60代 男)  
 5類感染症 梅毒 1名 (30代 女)

### ■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

- 手足口病は、県全体で 217 名 (定点あたり 5.50 → 4.02 人) の報告があり、前週より減少しました。  
 ○RS ウイルス感染症は、県全体で 39 名 (定点あたり 0.06 → 0.72 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。

### 【第34週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 7名 (O26:幼児 男 1名、O157:幼児 男 1名、小学生 女 1名、10代 男 1名、30代 男 1名、60代 女 1名、70代 男 1名) の発生がありました。  
 (8月21日～23日)  
 ○コレラ 1名 (70代 女) の発生がありました。岡山県では2004年以来、13年ぶりの患者発生です。  
 (8月23日)

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第32週に2名の報告があり、2017年第33週まで (～8/20) の累計報告数は23名となりました。さらに第34週 (8/21～8/23) にも7名の報告があり、患者の発生が続いています。岡山県では「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を発令し、注意喚起を図っています。例年、夏から秋にかけて最も発生が多くなります。この季節は細菌が増殖しやすい高温多湿な環境になっていますので、手洗いを徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで十分に火を通すなどの食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. **手足口病**は、県全体で217名 (定点あたり 5.50 → 4.02 人) の報告があり、4週連続で減少しました。流行のピークは過ぎ、患者数は減少傾向にありますが、依然として多くの患者が報告されています。地域別では、倉敷市 (7.27 人)、備北地域 (4.75 人)、岡山市 (4.71 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全国の第32週の発生状況は、定点あたり 7.12 人であり、前週より減少しました。都道府県別では、福井県 (16.00 人)、長野県 (15.54 人)、新潟県 (14.58 人) の順で、定点あたり報告数が多くなっており、28都道県で警報レベルを超える流行となっています。ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、手洗いや手指の消毒を励行するなど感染予防に努めましょう。
3. **RS ウイルス感染症**は、県全体で39名 (定点あたり 0.06 → 0.72 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。地域別では備北地域 (2.75 人)、美作地域 (2.33 人)、岡山市 (0.79 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。備前地域と真庭地域を除く全ての地域で患者が報告されており、特に備北地域 (0.00 → 2.75 人)、美作地域 (0.17 → 2.33 人) で前週より大きく増加しました。この感染症は、大人は軽い風邪程度の症状で軽快しますが、乳児が感染すると重症化する恐れがあります。例年、秋から冬にかけて多くの患者が報告されるため、今後の県内の発生状況に注意するとともに、手洗い、うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↑	★	RSウイルス感染症	↑	★
咽頭結膜熱	↓	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★★★	水痘	↘	★
手足口病	↘	★★	伝染性紅斑	→	
突発性発疹	↘	★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↘	★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↘	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↓		クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ↑：大幅な増加    ↗：増加    →：ほぼ増減なし    ↓：大幅な減少    ↘：減少  
 大幅：前週比100%以上の増減    増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)

空白：発生なし    ★：わずか    ★★：少し    ★★★：やや多い    ★★★★：多い    ★★★★★：非常に多い

## 海外へ渡航される方へ

### ◆ヨーロッパ地域で麻しんが流行しています

近年、イタリア・ルーマニアを含むヨーロッパ地域で麻しんの大規模な流行が起きています。麻しんにかかった(検査で診断された)ことがない方が海外渡航される時には、あらかじめ麻しんの予防接種歴を確認しましょう。麻しんの予防接種を2回受けていない場合、又は接種既往が不明の場合には予防接種を受けることを検討してください。

[麻しんリーフレット \[出国前・帰国後\] \(厚生労働省\)](#)

[みんなで目指そう「麻しんがゼロ」 \(厚生労働省\)](#)

(平成29年7月～平成30年6月) ※啓発目的以外での、無断使用を禁じます

### ◆海外での感染症予防

海外には、通常日本国内に存在しない感染症が多くあります。海外で感染症にかからないようにするには、出発前にあらかじめ渡航先の感染症に関する情報を入手しておくことが大切です。

#### 旅行中の注意点

- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダやラクダの乳など、火が通っていないものを食べることは避けましょう。
- ・肌の露出を少なくする、虫よけ剤(ディートやイカリジン含有)を使用するなど、蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。  
(狂犬病、中東呼吸器症候群(MERS)や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。)
- ・外出後は、しっかり手洗いをしましょう。

#### 帰国した後に

- ・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港の検疫所に相談してください。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

[夏休みに海外へ渡航される皆さまへ! \(厚生労働省検疫所\)](#)

[夏休みにおける海外での感染症予防について \(厚生労働省\)](#)

保健所別報告患者数 2017年 33週(定点把握)

( 2017/08/14～2017/08/20 )

2017年8月24日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	13	0.15	2	0.09	5	0.31	2	0.13	4	0.33	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	39	0.72	11	0.79	1	0.09	-	-	2	0.29	11	2.75	-	-	14	2.33
咽頭結膜熱	12	0.22	2	0.14	2	0.18	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	0.69	11	0.79	10	0.91	4	0.40	3	0.43	3	0.75	-	-	6	1.00
感染性胃腸炎	298	5.52	63	4.50	89	8.09	36	3.60	17	2.43	16	4.00	9	4.50	68	11.33
水痘	8	0.15	2	0.14	5	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	217	4.02	66	4.71	80	7.27	13	1.30	23	3.29	19	4.75	4	2.00	12	2.00
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	15	0.28	8	0.57	5	0.45	-	-	-	-	-	-	1	0.50	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	49	0.91	8	0.57	16	1.45	1	0.10	9	1.29	1	0.25	4	2.00	10	1.67
流行性耳下腺炎	13	0.24	6	0.43	7	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	-	-	3	0.75	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2017年 33週(発生レベル設定疾患)

( 2017/08/14～2017/08/20 )

2017年8月24日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	13	0.15	2	0.09	5	0.31	2	0.13	4	0.33	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	0.22	2	0.14	2	0.18	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	0.69	11	0.79	10	0.91	4	0.40	3	0.43	3	0.75	-	-	6	1.00
感染性胃腸炎	298	5.52	63	4.50	89	8.09	36	3.60	17	2.43	16	4.00	9	4.50	68	11.33
水痘	8	0.15	2	0.14	5	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	217	4.02	66	4.71	80	7.27	13	1.30	23	3.29	19	4.75	4	2.00	12	2.00
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	49	0.91	8	0.57	16	1.45	1	0.10	9	1.29	1	0.25	4	2.00	10	1.67
流行性耳下腺炎	13	0.24	6	0.43	7	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	-	-	3	0.75	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3  
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2017年 第33週 2017/08/14~2017/08/20 )

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	13	-	-	2	1	-	1	-	-	-	2	1	1	-	-	4	-	1	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	39	8	5	23	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	12	1	-	5	3	-	-	1	-	-	-	2	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	-	-	2	5	-	4	6	1	1	4	6	1	7	
感染性胃腸炎	298	4	27	58	36	21	23	8	14	10	14	16	30	6	31
水痘	8	-	-	2	2	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-
手足口病	217	2	24	80	32	25	16	8	13	3	2	1	2	1	8
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	15	-	6	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	49	2	7	14	8	5	5	2	2	1	1	1	-	-	1
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	-	2	2	2	1	2	-	2	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-

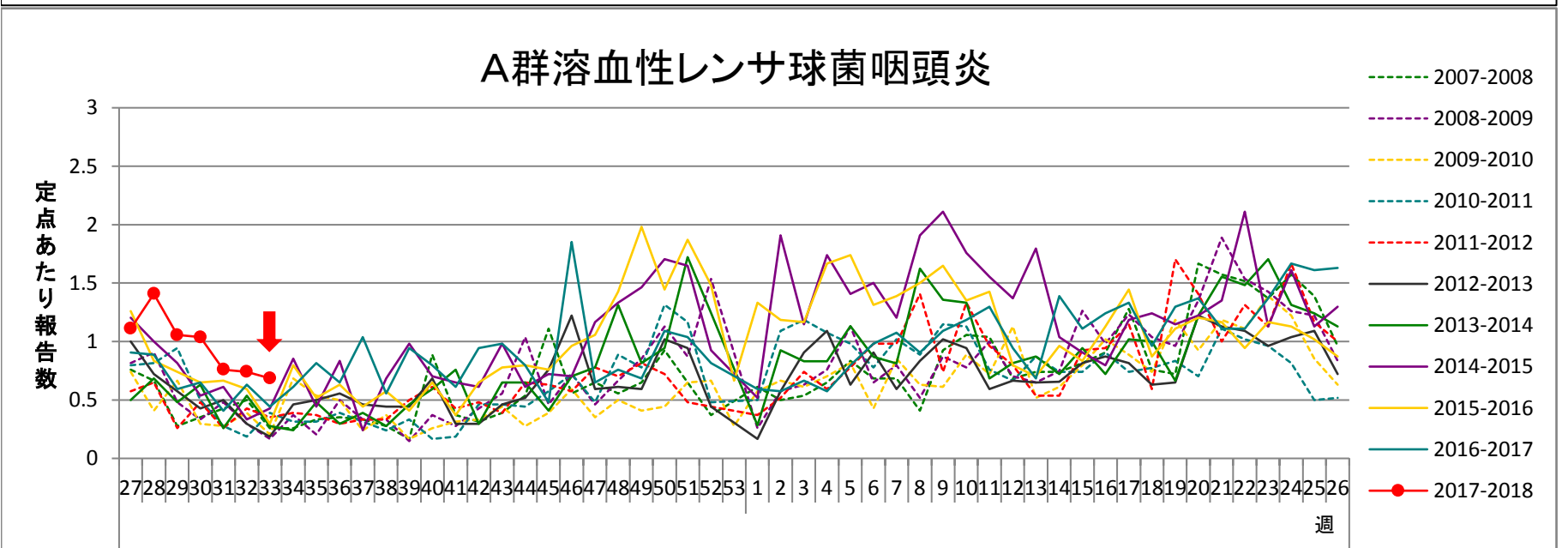
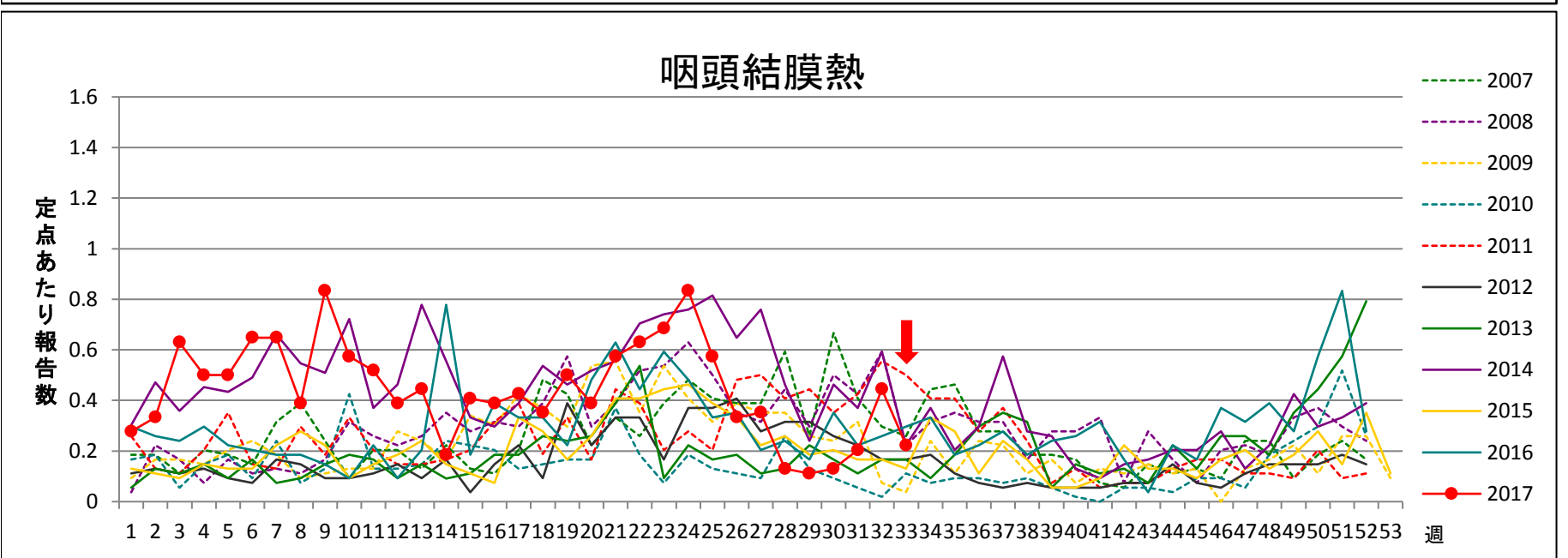
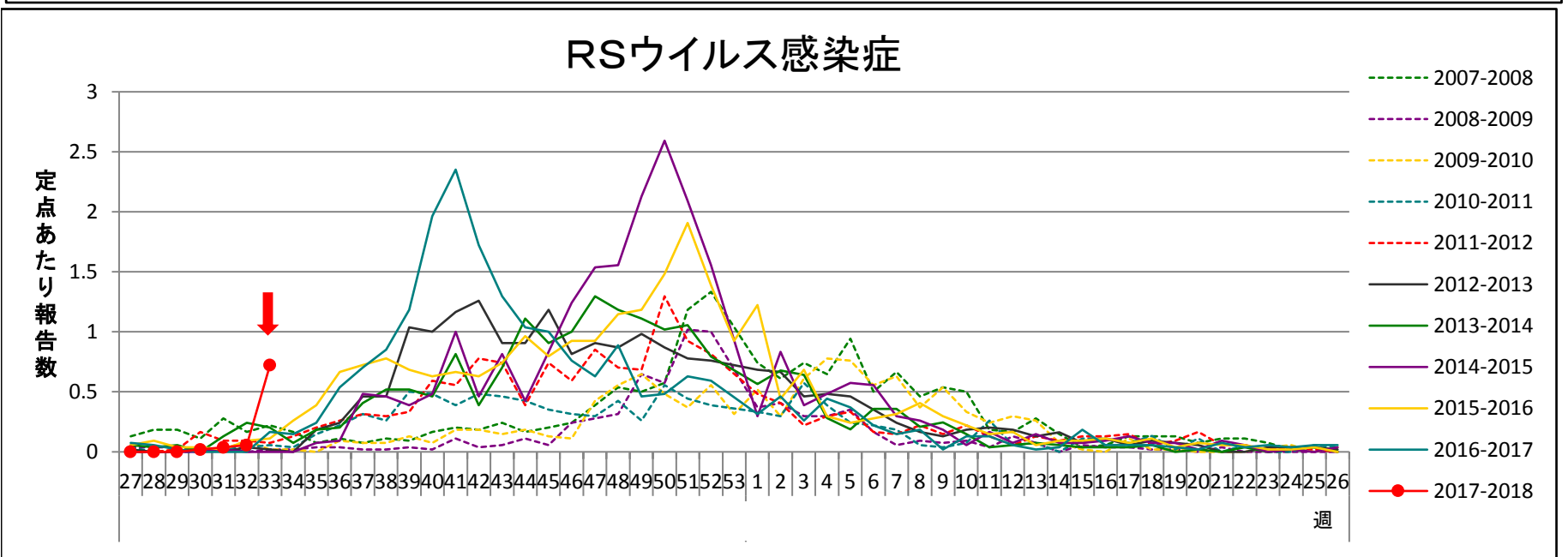
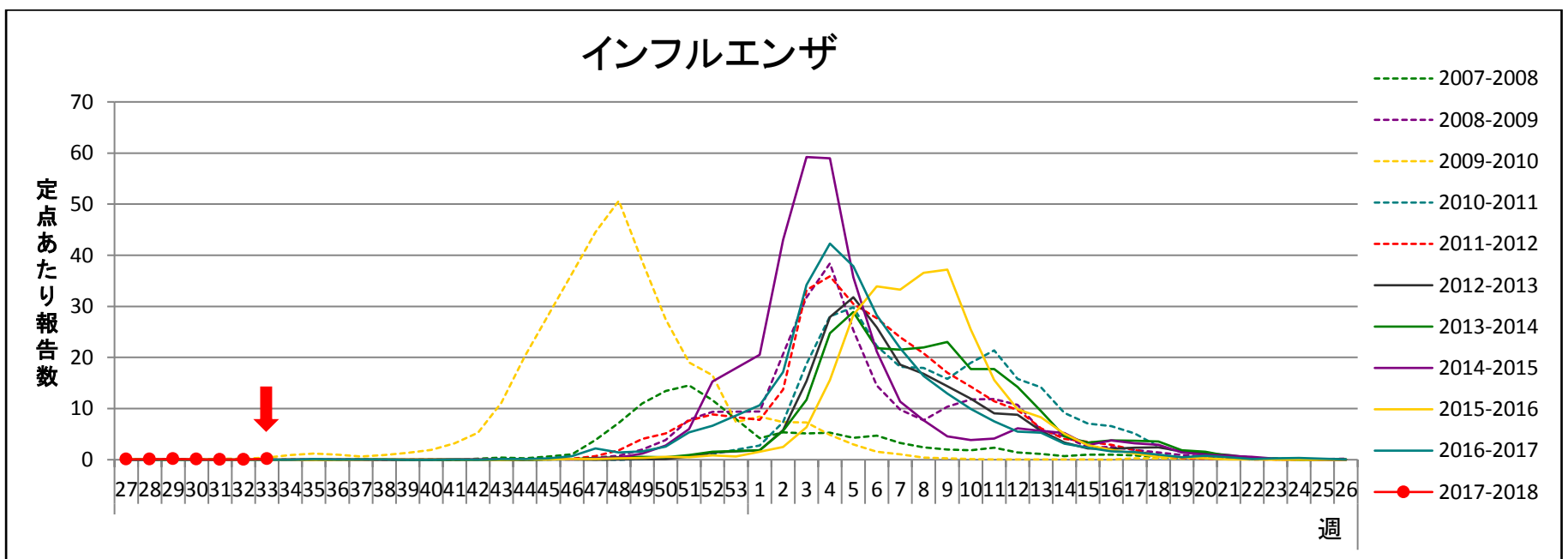
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

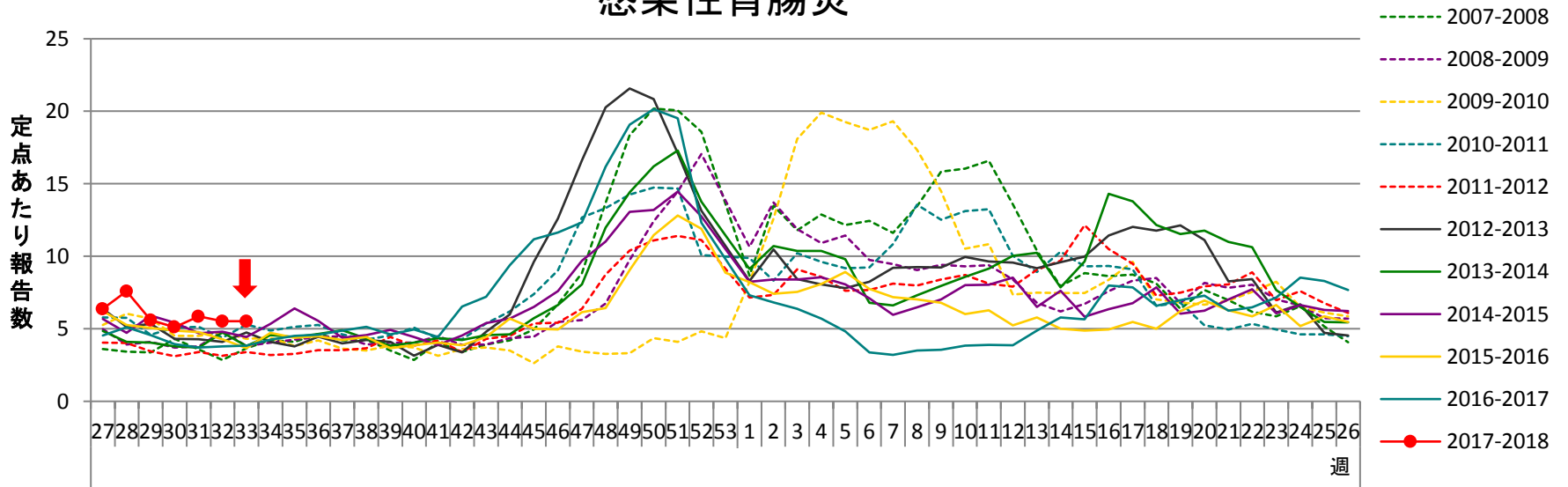
# 全数把握 感染症患者発生状況

2017年 33週

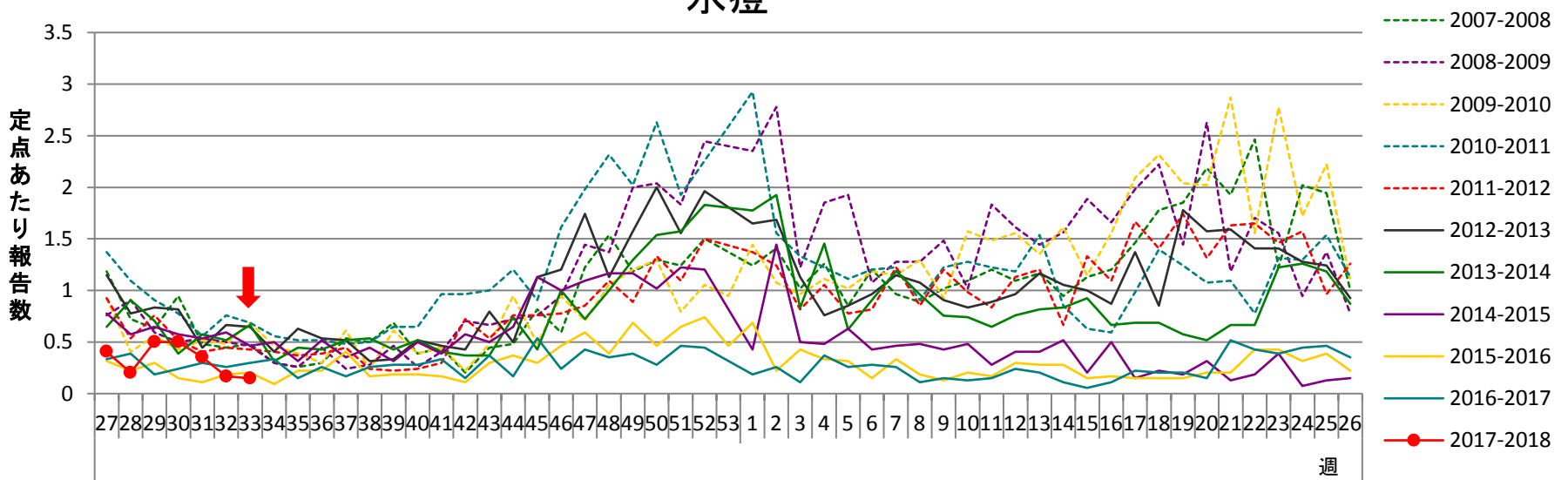
分類	疾病名	2017			疾病名	2017			疾病名	2017		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	226	311	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	23	65
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	1
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2
	デング熱	-	-	1	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	1	日本紅斑熱	-	2	5
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	16	26
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	16	18	ウイルス性肝炎	-	4	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	9	28
	急性脳炎	-	3	11	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	5	8	後天性免疫不全症候群	-	12	12	ジアルジア症	-	-	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	7	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	26	32
	水痘(入院例に限る。)	-	2	3	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	1	96	40
	播種性クリプトコックス症	-	-	2	破傷風	-	-	4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	4	1	風しん	-	-	-	麻しん	-	-	-
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-



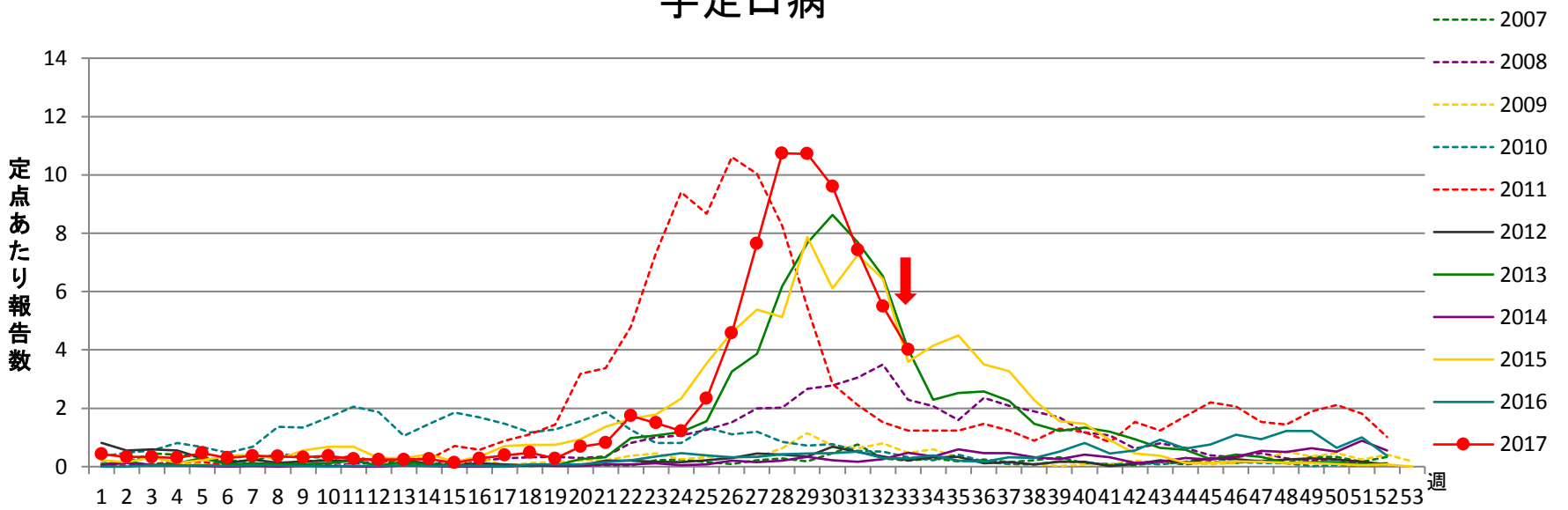
### 感染性胃腸炎



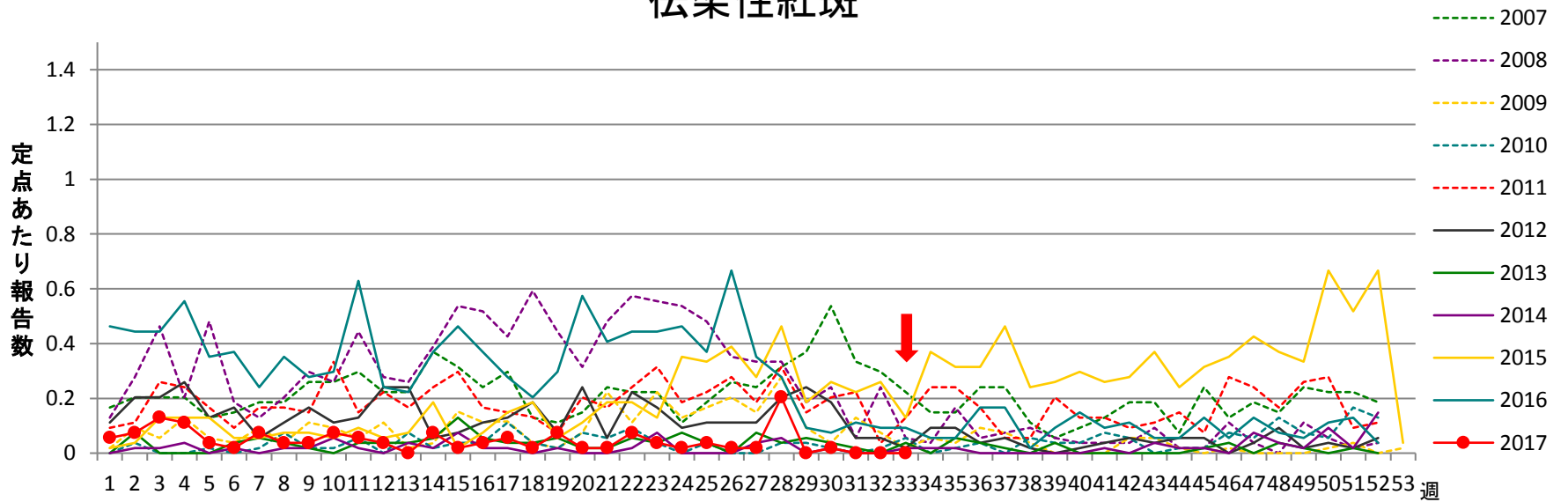
### 水痘



### 手足口病

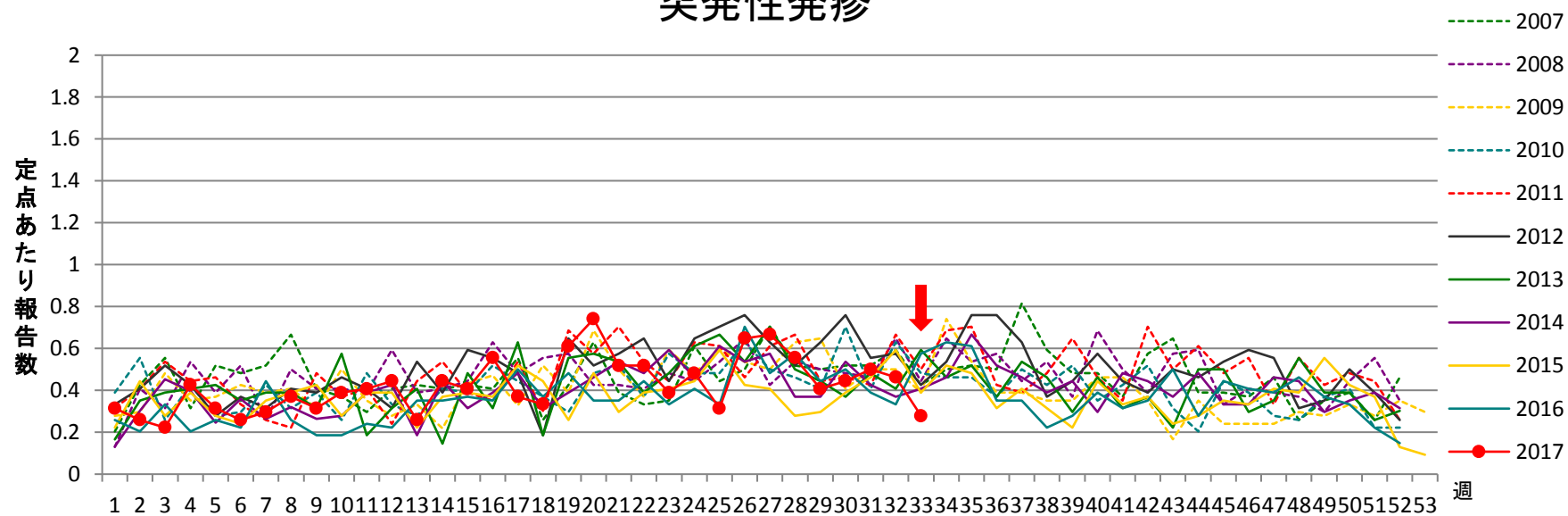


### 伝染性紅斑

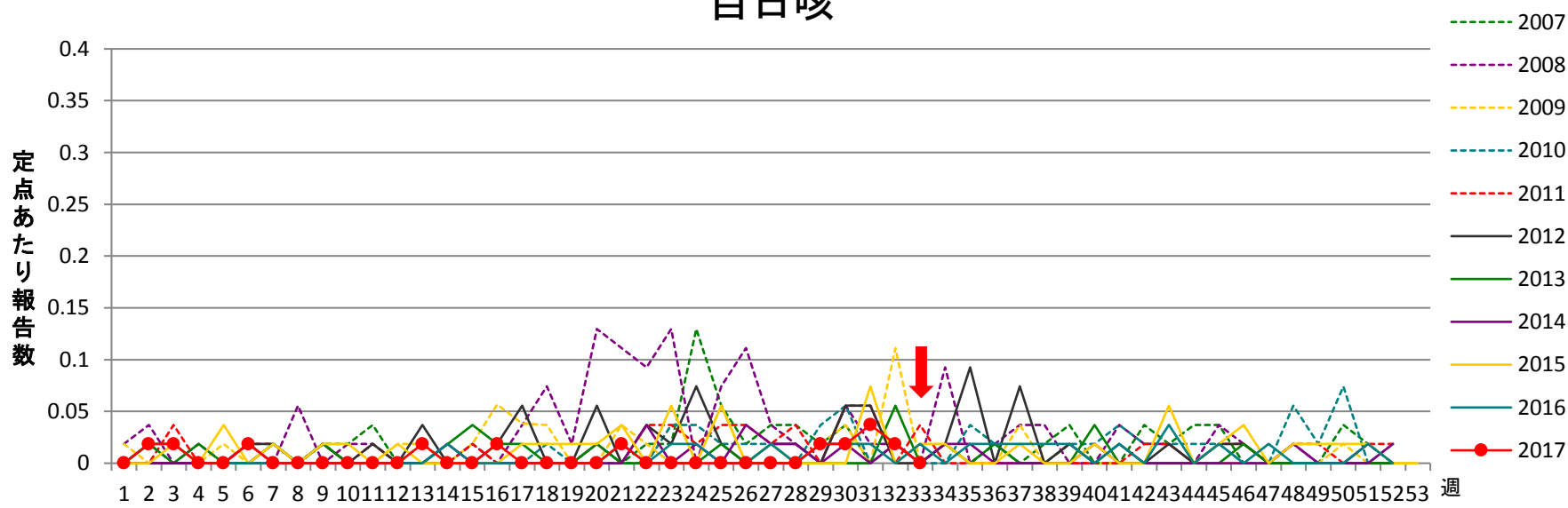




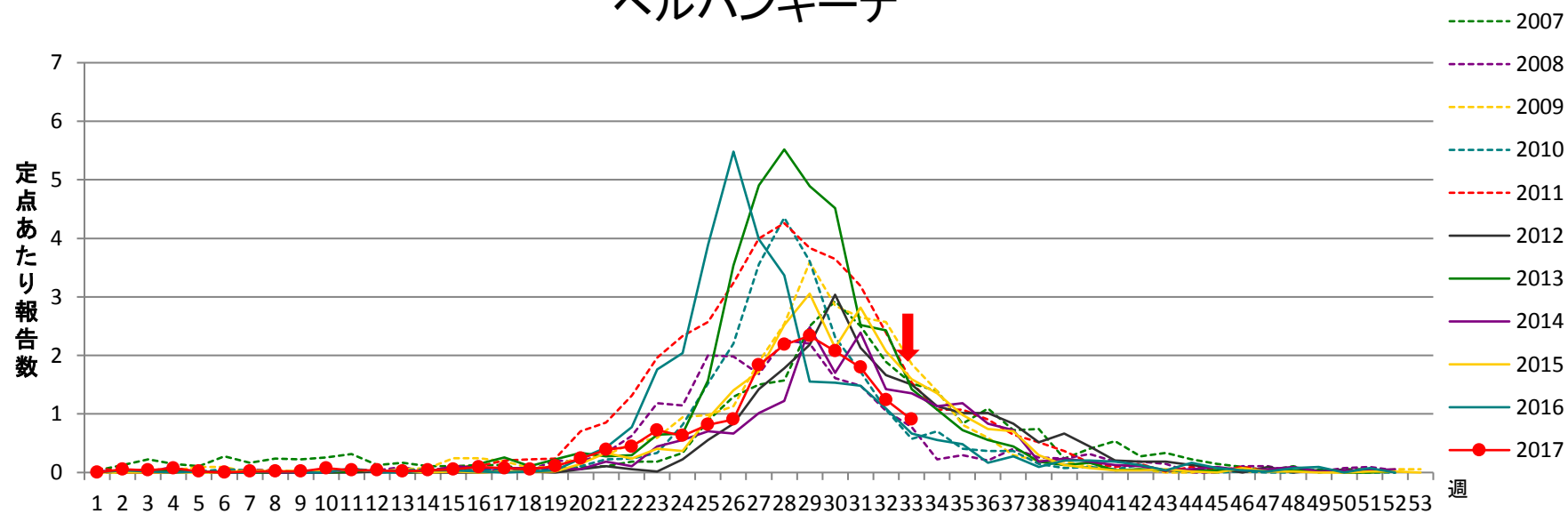
### 突発性発疹



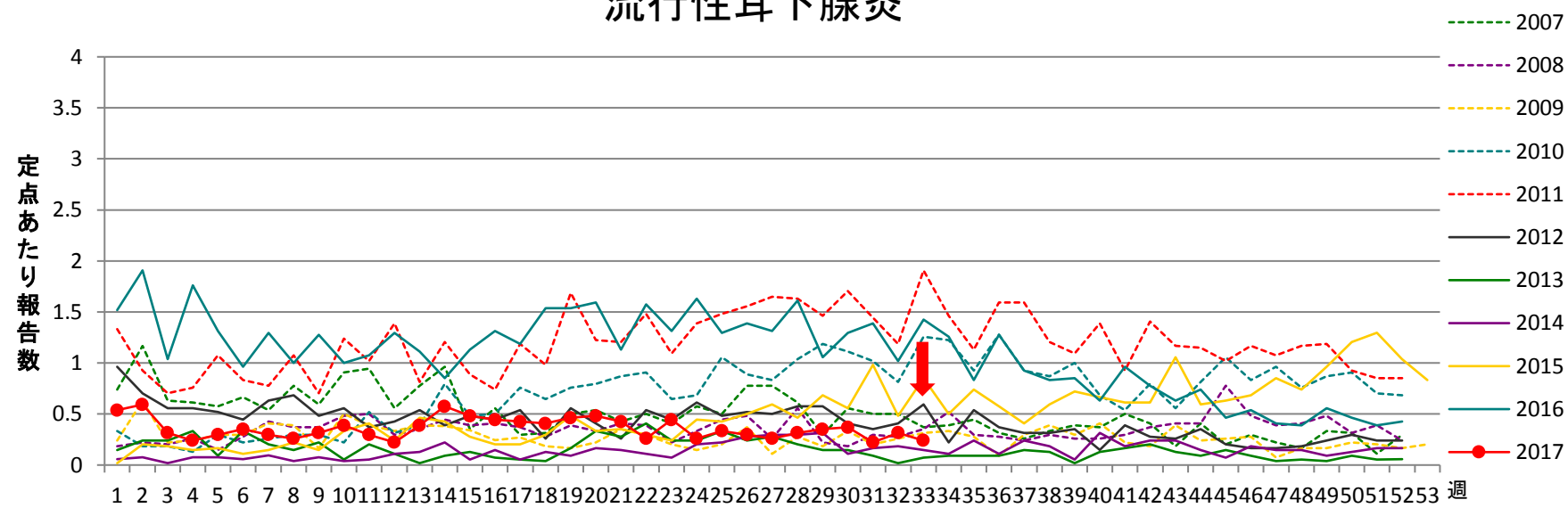
### 百日咳



### ヘルパンギーナ

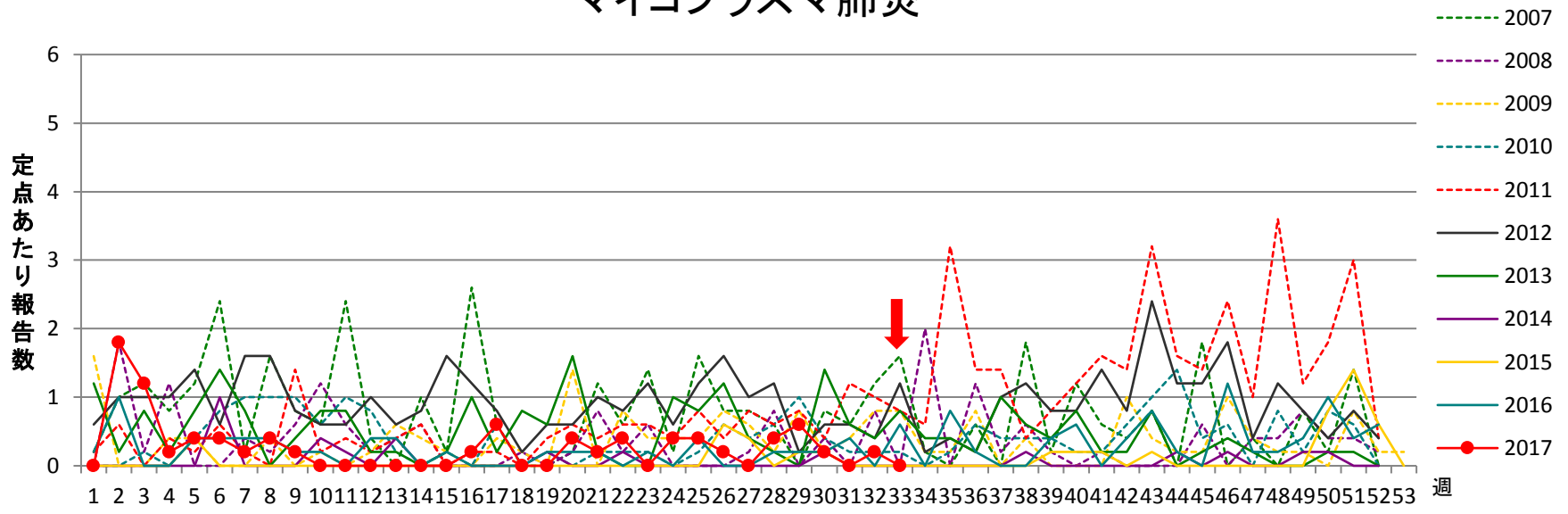


### 流行性耳下腺炎

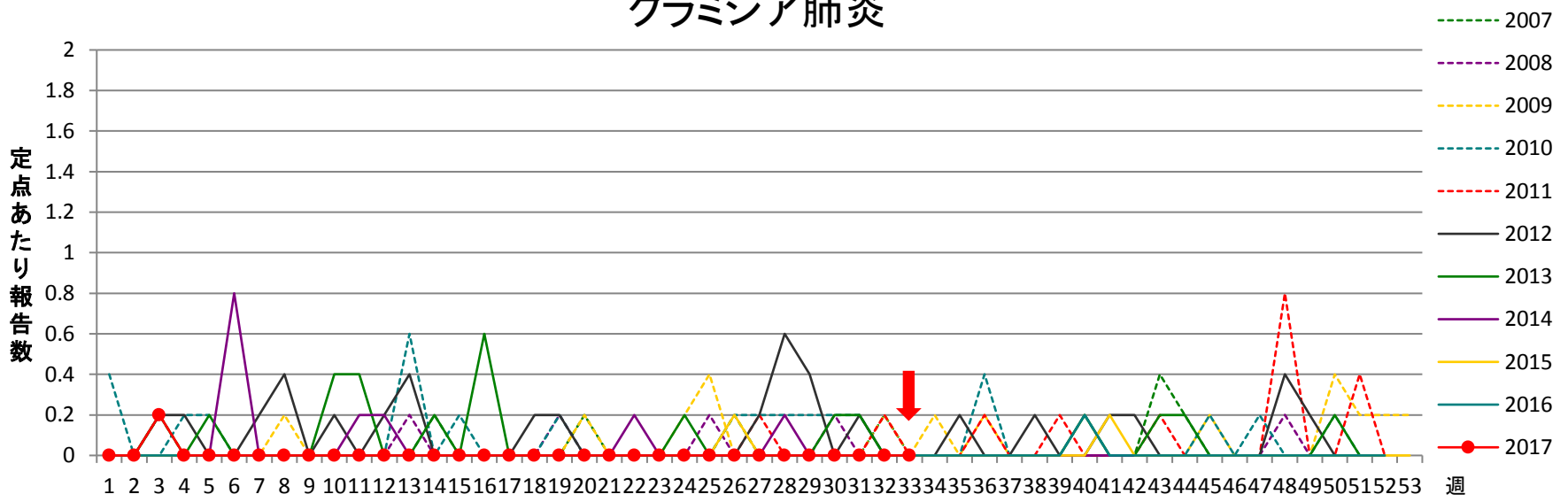




### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

